

不安定化する世界経済 —1980-2015—

松林洋一

〈要旨〉

本稿では，1980年代から現在に至る世界経済の潮流を俯瞰，展望する．金融の自由化・国際化は，国際的な資金移動を加速させるとともに，各国の対外不均衡を常態化させつつある．そして国内外の金融市場の変化は各国の実体経済に様々な変化をもたらすことになる．本論文では金融の自由化・国際化が本格的にスタートした1980年代以降の世界経済を，対外不均衡を視軸として多面的なアングルから考察していく．2000年代の世界的な経常収支不均衡（グローバル・インバランス）に伴う実体経済の活況は，現在長期停滞という形で調整局面を迎えている．さらにその背後では様々な不確実性が生じ始めており，世界経済をより不安定なものとしつつある．